

令和9年度国立大学開設予定学部等一覧

1. 学部の学科の設置 1校

令和8年8月

区分	No	大 学 名	学部・学科等名	入学定員	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
国立	1	高知大学	地域協働学部 パブリックイノベーション学科	人 30	高知県高知市	国立大学法人 高知大学	・ディプロマ・ポリシー（DP）③に掲げる「主体性・多様性・協働性」のうち、「多様性」については、学生が修得すべき能力として求められる内容を十分に理解できるよう、具体的に分かりやすく周知すること。 ・アドミッション・ポリシー（AP）において、ディプロマ・ポリシー（DP）と類似した表現で示している資質・能力については、入学志願者が入学時に求められる資質・能力を適切に理解できるよう、分かりやすく周知すること。 ・カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程の体系性を学生が適切に理解できるよう、カリキュラムマップや履修モデルの表記の改善等を含め、分かりやすく周知すること。 ・科目区分「文化・デザイン分野」について、本学科における当該分野設定の趣旨がより達成されるよう、配置された科目の関係性を学生に分かりやすく周知するとともに、教育課程の充実を図ることが望ましい。 ・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項	地域協働学部 地域協働学科【定員減】 <

2. 研究科の専攻の設置又は課程変更 3校4件

区分	No	大 学 名	学部・学科等名	入学定員	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
国立	1	金沢大学大学院	新学術創成研究科 総合知創出科学専攻（D）	3	石川県金沢市	国立大学法人 金沢大学	・「GS発展2科目（全学必修・博士レベル）」においてデジタルの端緒を学ぶことについて、学生が適切に理解した上で履修することができるよう、「シラバス」の記載内容の改善・充実を含め、十分に周知すること。 ・英語能力に関する修了要件については、志願者が当該要件を十分に理解した上で入学できるよう、募集要項等において分かりやすく周知することが望ましい。 ・「日本語と英語による授業のクラス分け」などの方法も含む授業方法の決定に当たっては、当該授業の担当教員への過度な負担が生じないように配慮しつつ、適切な運用方法を工夫することが望ましい。 ・留学生の入学資格について「『留学』等の在留資格を必要とする。」と記載されているが、入学資格が認められる在留資格について明確に周知することが望ましい。	遵守事項 助言事項 助言事項 助言事項	※大学院設置基準第14条特例の実施
国立	2	愛媛大学大学院	人文社会科学研究科 人文社会科学専攻（D）	5	愛媛県松山市	国立大学法人 愛媛大学	・特になし		※大学院設置基準第14条特例の実施
国立	3	宮崎大学大学院	健康科学研究科 看護学専攻（D）	3	宮崎県宮崎市	国立大学法人 宮崎大学	・本専攻の教育研究領域である「ヘルスケアデザイン看護学」の内容及びこれを基盤とする人材養成の趣旨・目的について、学生をはじめとする社会一般に分かりやすく周知するように努めること。また、その趣旨・目的の達成に向けて、教育課程の不断の見直しを行うこと。	遵守事項	看護学研究科 → 健康科学研究科 令和9年4月名称変更予定 ※大学院設置基準第14条特例の実施
国立	4	宮崎大学大学院	健康科学研究科 心理学専攻（M）	6	宮崎県宮崎市	国立大学法人 宮崎大学	・本専攻においては、認知行動療法の理論及び技法の学修を重視しているものの、その修得のみを目的とする専攻ではないことが学生等に適切に理解されるよう、その趣旨・目的を十分に周知することが望ましい。また、認知行動療法以外の心理療法や臨床実践を支えるその他の心理学分野に関する学修内容とのバランスに配慮することが望ましい。	助言事項	看護学研究科 → 健康科学研究科 令和9年4月名称変更予定 ※大学院設置基準第14条特例の実施